

## プログラム概要

(平成 31 年 1 月 15 日現在の内容になります)

### 特別講演 「アディクション医療のこれまでとこれから」

【講師】独立行政法人国立病院機構さいがた医療センター 院長特任補佐 村上 優

【座長】国立病院機構琉球病院 院長 福治康秀

### 第 1 分科会 「基礎講座」

【座長】糸満晴明病院 医師 平田雄三

【講義】依存症の基礎知識と臨床（アルコール依存症を中心に）

【講師】国立病院機構琉球病院 医師 栗原雄大

【講義】アルコール関連問題の相談について～関係機関との連携から～

【講師】糸満晴明病院 精神保健福祉士 山城涼子

【講義】アルコール依存症の看護 【講師】国立病院機構榊原病院 看護師長 古川房予

【講義】家族支援 —CRAFT— 【講師】国立病院機構琉球病院 心理士 山田 豊

今回の基礎講座は、依存症の基礎知識と臨床、アルコール関連問題の相談の受け方、アルコール看護（中核群）、家族教室（CRAFT）のテーマについて 4 人の講師の方に話していただきます。4 人の講師は、第 1 線でアルコール関連問題の臨床を続けられているエキスパートですので、講義は実践的な内容になるはずで、アルコール関連問題・依存症への関わりを総合的に学びたい方は、ぜひご参加ください。

### 第 2 分科会 「事例検討」

【事例提供者】国立病院機構琉球病院

【助言者】国立病院機構肥前精神医療センター 医師 武藤岳夫、医師 福田貴博

九州各県のアルコール関連問題関係者が集まる本学会で、参加型の分科会を企画したいと考え事例検討を開催することとしました。依存症臨床の場にも若年者、発達障害を併発する方の受診も増えてきていますが、治療がなかなかうまくいかず悩むことも多いのではないのでしょうか？

本分科会では分科会参加者で即席の多職種チームを作り、架空の 2 つの入院事例を検討します。この事例検討に正解や答えはなく、参加者の皆様の臨床実践や工夫、悩みをシェアできる時間にしたいと考えています。また、依存症臨床は入院治療だけで完結することはなく、行政や地域支援者、自助グループとの連携も非常に重要です。様々な立場の方に参加していただき、活発に意見交換できる分科会にしたいと考えています。

### 第3分科会 「地域資源と支援」

【座長】 国立病院機構琉球病院 副院長 大鶴卓

【話題提供者】 一般社団法人沖縄ダルク、定非営利活動（NPO）法人 琉球GAIA、ワンネスグループ沖縄、公益社団法人全日本断酒会連盟沖縄県断酒会、AA日本ジェネラルサービス、一般社団法人むら 就労支援事業所ワーカーズホーム、アルプスセンター、沖縄県北部保健所 保健師、一般社団法人おきなわASK

アルコール関連問題を有する方への地域資源、支援体制も増えてきました。しかし、地域で活動する様々な機関や団体の実践を知る機会は限られています。本分科会では、自助グループに加え、相談機関、就労支援、デイケアなど様々な地域支援者にシンポジストとして話していただきます。各団体や支援機関が、どのような活動をしているのか知ることから連携が始まります。連携を模索している多くの方のご参加をお待ちしています。

### 市民公開講座 「アルコール健康障害対策推進基本計画策定後の連携を考える」

【座長】 糸満晴明病院 理事長 稲富仁、沖縄県精神保健福祉センター 所長 宮川治

【シンポジスト】 沖縄県保健医療部地域保健課長、沖縄県北部保健所地域保健班長、伊江村医療保健センター 保健師、公益社団法人全日本断酒会連盟沖縄県断酒会、全国健康保険協会沖縄支部 保健専門職、沖縄県警察本部交通部、国立病院機構琉球病院

平成25年12月に「アルコール健康障害対策基本法」が成立し、平成28年5月に「アルコール健康障害対策推進基本計画」が策定され、アルコール健康障害対策を総合的かつ計画的に推進していく基盤が整いました。

アルコール関連問題は、本人の問題であるのみならず、飲酒運転、暴力、虐待、自殺などの様々な問題にも密接に関連しています。この基本計画を実行性があるものにするためには医療だけでなく、様々な関係機関と密に連携を構築するにかかっています。市民公開講座では沖縄県の実務者にアルコール健康障害対策推進基本計画策定後の連携について講演していただき、新しい連携やネットワークが広がるきっかけとなる機会にしたいと考えております。アルコール関連問題の関係者だけでなく、多くの市民の方々の参加をお待ちしています。

ランチョンセミナー （演題、講演者調整中） 【提供】 日本新薬株式会社

イブニングセミナー （演題、講演者調整中） 【提供】 大塚製薬株式会社